

第五十六回
帝國議會
貴族院

家畜保險法案外一件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

家畜再保險特別會計法案

委員氏名

委員長 男爵足立 豐君

副委員長 大城 兼義君

侯爵佐竹 義春君

伯爵奧平 昌恭君

子爵松平 直平君

子爵會我 祐邦君

菅澤 重雄君

山田 惠一君

野村 徳七君

昭和四年三月六日(水曜日)午後一時十五分開會

○委員長(男爵足立豐君) ソレデハ只今カラ家畜保險法案並ニ家畜再保險特別會計法案ノ特別委員會ヲ開會致シマス、先以テ政府當局ノ此兩案ニ對シマスル御説明ヲ伺フコトニ致シタイト存ジマス

○國務大臣(山本悌二郎君) ソレデハ家畜保險法案ニ對シマシテ其趣旨ノ説明ヲ致シマス、家畜保險ハ畜産經營ヲ合理的ナラシメ、其改良發達ノ基礎ヲ供スルモノデゴザイマシテ、農村振興上極メテ緊切ナル施設ト考ヘマス、殊ニ近來畜産ノ發展ニ伴ヒマ

シテ家畜ノ資質ガ向上シテ參リマスニ從ヒマシテ、其價格ノ増加ニ伴フ弊死ノ危險モ亦多キヲ加フルノ傾向ニアリマス結果トシテ、家畜保險ニ對スル要望ハ、愈、痛切ヲ極メテ居ルノデアリマス、而シテ之ニ應ズル途ト致シマシテ、畜産組合等ニ於キマシテ相當家畜共濟事業ヲ行ッテ居ルノデゴザイマスガ、組織並基礎ガ尙ホ薄弱デアリマシテ、十分其機能ヲ發揮シ得ザル狀況ニア

ルノデアリマス、本邦ノ家畜保險ハ今ヤ正ニ一大轉換ヲ遂ゲナケレバナラヌ時機ニ至ッテ居ル次第デアリマス、依ッテ政府ハ今般家畜保險法ヲ制定イタシマシテ、新タナル制度ヲ樹テルト共ニ、政策ノ助成方法ヲ講ジマシテ、以テ畜産界ノ需要ニ應ジ、其改良發達ヲ促スト共ニ、農家經濟ノ充實ニ資セムト欲スル次第デアリマス、本法案ニ於キマシテハ、家畜ノ中ノ最も重要ナル牛及馬ニ付テ其生命保險ヲ行フ目的ト致シテ居ルノデアリマシテ、保險ノ組織ハ大體郡市ノ區域ニ依ル家畜保險組合ヲシテ相互主義ニ依ッテ元受保險ヲ行ハシメマシテ、其危險分擔ノ保障ヲ行フガ爲ニ政府ニ於テ更ニ再保險ヲ行フコトニ致シタノデアリマス、此組織ハ家畜保險ニ於テ殊ニ留意スベ

キ道德的危險ノ防止ノ爲メ必然的デアリマルノミナラズ、現在ノ共濟事業ノ基礎ニ立ッテ發達セシムル趣意デゴザイマシテ、又畜産組合ト連絡ヲ保チ得マス爲ニ保險普及發達ニ最も適當デアルト考ヘテ居リマス、尙ホ家畜保險組合ノ構成並ニ保險關係ニ付キマシテモ、農村ノ實情ニ適シ、且ツ十分ニ保險ノ目的ガ達セラレマスヤウニ種種配慮致シタ次第デアリマス、實施計畫ノ最初ハ昭和六年度ヨリ開始イタシマシテ、組合數ハ五ヶ年間ニ四百、加入額數十ヶ年目ニ牛約三十四萬頭、馬約三十二萬頭、其支拂保險金額約二百七十萬圓ニ達セシムル見込デアリマス、而シテ政府ニ於キマシテハ再保險事業ヲ經營イタシマス爲ニ、特別會計ヲ設置イタシマシテ、是亦十ヶ年目ヨリ一般會計ノ補給ヲ受ケナイ計畫ニナッテ居リマス、何卒慎重御審議アラムコトヲ希望イタシマス

○委員長(男爵足立豐君) デハ大藏省ノ政府委員ノ御出デガアリマセヌカラ、只今農林大臣ノ説明ガアリマシタ家畜保險法ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○子爵會我祐邦君 私ハ細カイ質問ハ後ニ致シマシテ、簡單ニ承リタイノハ家畜保險組合ノ第一條ノ終リニ「家畜ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、家畜ト云フモノハドウ云フ風ニ定義ヲ御附ケニナッテ居リマスカ

○政府委員(戶田保忠君) 此法律ニ依リマシテ差當リ保險ノ目的ト致シマスノハ、牛ト馬ノ積リデゴザイマス

○子爵會我祐邦君 家畜ト云フ字ノ定義ニ付キマシテハ何時デゴザイマシタカ……獸醫師法案ノ際ニ家畜ト云フモノノ定義ハ何デアルト云フコトニナリマシテ、非常ニ問題ニナリマシタ、家畜ト云フモノハ必ズシモ足ノ四本アルモノバカリデモナイ、獨逸ノ如キハ鷄デモ、鶯鳥デモ、七面鳥デモ矢張り獸醫ノ中ニ入ッテ居ル、詰リ小家畜ノ病氣デサヘモ獸醫ノ中ニ入ッテ居ルト云ハレマシテ、到頭其際ニ家畜ト云フ字ノ定義ガ政府カラナカッタノデアリマス、後日研究スルト云フコトニアノ場合ナッテ居ルノデゴザイマスガ、今回モ矢張り家畜ト云フ字ニ付キマシテハ、單ニ牛馬ヲ以テ家畜トスルト云フ定義デ御出デニナルノデハナクシテ、廣イ範圍ノ中ニ於テ此法案ニ關係スル所ノモノハ牛馬デアルト御解釋ニナッテ居ルノデアリマスガ、同時ニ家畜ト云フモノ

ノ定義ガ政府トシテ決テ居リマスカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(戸田保忠君) 此法案デ差當リ實際ニ實行イタシタイノハ、今ノ牛ト馬デ

ゴザイマス、理想カラ申シマスト牛ト馬ニ限ラズ、或ハ豚デアリマスとか、羊デアリ

マスとか、色々時期ガ参リマスレバ保險ノ目的ニ致シタイト考ヘテ居リマス、併シ現

在デハ御承知ノ様ニ保險其モノガ死亡率ヲ出シマス關係、統計ガ基礎トナリマス、今

日ノ狀況デハ牛ト馬ダケヨリ外、先ヅ保險ヲ行フ爲ニハ基礎的ノ統計ガ十分ニナッテ

居リマセヌ、ソレデ法律其モノカラ云ヘバ、差當リノ目的カラ云ヘバ牛馬保險法デモ宜

イ譯デアリマスアレドモ、法律ノ理想カラ申シマス、或ハ養豚ト云フヤウナモノヲ

入レル時期ガ参リマスレバ入レタイ、理想ノ中ニハサウ考ヘテ居リマス、ト云フヤウ

ナ關係デ牛馬保險法ト言ハナイデ、家畜保險法ト致シマシタ次第デアリマス

○子爵會我祐邦君 然ラバ此家畜ト云フ字ハ何モ定義ノ上カラ決メラレタ字デナクシ

テ、現在此法案ニ關係シテ居ルモノハ牛馬デアッテ、牛馬ハ家畜ノ一部デアル、ダカラ家

畜保險トスル、將來ハ、牛、馬、養豚ニマデモ及ボスト云フ思召シデアッテ、家畜ト云フモノハ必ズシモ、獸醫師法案ニ出タト記憶イタシテ居リマス所ノムツカシイ定義ニハ

何モ關係ナク、家畜ノ中ノ牛馬、所謂仰シヤルヤウニ牛馬ヨリモト廣クナルカモ知レヌカラ家畜ト使テアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シウゴザイマセウネ

○政府委員(戸田保忠君) 大體サウ御考ヘニナッテ宜シウゴザイマス、此法律ノ第一條

ノ第二項ニアリマス如ク、「保險ノ目的タルベキ家畜ハ勅令ヲ以テ定ム」ト斯ウ致シテ

居リマシテ、保險ガ附クモノヲ擴ゲルコトガ出來レバ其時代ニ擴ゲタイト思フノデア

リマス、現状デハ先ヅ牛馬シカヤル意思ガゴザイマセヌ

○子爵會我祐邦君 何レ逐條デ伺ヒマスルガ、チヨット此處デ氣ガ附キマスノハ第四十

二條ト四十三條トノ關係デゴザイマスルガ、「監事ハ理事又ハ事務員ヲ兼ヌルコトヲ得

ズ」、第四十三條「民法第五十九條ノ規定ハ組合ノ監事ニ之ヲ準用ス」トアリマスルガ、

是ハ法人デアリマセウナ、詰リ法人ニナルノデゴザイマセウネ

○政府委員(戸田保忠君) 法人デゴザイマス

○子爵會我祐邦君 此法人ハ民法デ作ラレテ居ル譯デアリマスナ、定義ト致シマスレバ財團法人デアルトカ、總テノ法人ハ民法

デ規定サレテ居ルノデセウ

ノ法人デゴザイマスノデ、其中ノ民法ノ規定デ足ルモノハ民法ノ規定ヲ準用シ、商法ノ規定ヲ必要トスルモノハ商法ノ規定ヲ準用スルト云フ立法デ行キマス、ソレデ此法律ニ依ッテ特殊ノ法人ト云フコトニナリマス

○子爵會我祐邦君 ソレガ爲ニ四十三條ニ

「民法第五十九條ノ規定ハ組合ノ監事ニ之ヲ準用ス」ト書イテアルニ拘ラズ第四十二

條ニ常識カラ云ッテモ當リ前ノ監事ハ理事又ハ事務員ヲ兼ヌルヲ得ズ」ト云フコトヲ御

載セニナッテ居ルノハドウ云フ所以デアリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) スウ云フ種類ノ立法ニハ必要ガアリマス場合ハ四十二條ノ

ヤウナ規定ヲ皆設ケテ居リマシテ、單純ナル解釋デハチヨット解ラヌノデゴザイマス、

民法ノ方ノ五十九條ハデス監事ト云フモノノ職務ヲ規定シテ居ル譯デゴザイマス、監

事ノ職務ノ方ハ四十三條ヲ準用致シマシテ此法律ニ依リマス監事モ民法ノ法人ノ監事

ト同ジデアルト云フコトハ明ラカデ、監事ガ理事ト兼ネマス弊害ガアリマスカラ其

事ヲ四十二條ニ規定致シテ居ルノデアリマス

○子爵會我祐邦君 此法案ヲ拜見致シマシテモ實際ノ保險ノ仕事ガドウ云フ風ニ實際

實際化サレテ日本ノ隅カラ隅迄家畜ニ應用サレルカト云フコトニ付キマシテ之ヲ拜見シタラサゾ解カルコトデゴザイマセウガ、

参考君ヲ今戴キマシタヤウナ次第デ十分讀ム時間ガゴザイマセヌガ、之ヲ通俗的ニ吾々

素人ニ解カルヤウニ極簡單ニ御説明ヲ願フコトハ出來マスマイカ、地方ニ於テ組合ガア

ル、組合ガ斯ウ云フ風ニシテ保險ガ行ハレテ、斯ウ云フ風ニ保險ガ殖エテ行クノダ、

斯ウ云フ風ニシテ賠償ガ取レルノダト云フヤウナコトヲ極簡單ニ知識ヲ簡便ニ得マス

爲ニ御説明ヲ願フコトハ出來マスマイカ

○政府委員(戸田保忠君) 此法律及此法律ノ施行勅令ノ規定ニ依リマシテ、施行勅令以

下ノ規定ハ、マダ確定致シタモノハゴザイマセヌガ、大體ノ腹案ガアリマスカラ、此法律

ガドウ云フ風ニ運用サレテ参リマスカ大體ノ要領ヲ簡單ニ御説明ヲ致シタイト思ヒマ

ス、元受保險ハ家畜保險組合ト云フモノヲ作ラセマシテ、ソレヲ元受保險ヲヤル積リ

デアリマス、家畜保險組合ハ法人ト致シマシテ其構成組織ハ組合ノ區域ハ都市ノ區域

ヲ越エナイト云フコトヲ標準ト致シマシテ、但書ニ依リマシテ例外ハ認メマスガ、原則的ノモノハ都市ノ區域ヲ越エナイト云フコトヲ標準ト致シテ居リマス、都市ノ區域ヲ標準ト致シマシタノハ今日畜産組合ガ相當發達シテ居リマス、畜産組合ガ此組合ノ運

用ヲヤルト云フヤウナコトニ實際ニ普及發達ヲ圖ル上ニ於テ希望致シテ居リマス、法律上ノ人格トシテハ勿論別物デアリマスガ、畜産組合全部トハ申上ダ兼ネマスケレドモ、出來ルモノハ畜産組合ヲ利用致シマシテ保險組合ヲ作シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレデ場合ニ依リマシテハ畜産組合デ保險組合ニナルモノガアリ得ルト思ヒマス、サウ致シマスト家畜保險組合ハ出資團體デモアリマセヌノデ或ハ事務所ナドモ同一ノ事務所ヲ使フコトモ出來マスシ、或ハ事務員ナドモ相當ニ使フコトガ出來マスシ、一方畜産組合ガ畜産行政ノ基礎ニナシテ居リマスノデ、ソレト密接ナ關係ニアラシメルコトガ、家畜保險ヲヤッテ行キマスル上カラモ、家畜保險ヲ十分ニ行ヒマスノニハ飼養管理ト云フコトガ非常ニ影響イタシマスカラ、飼養管理ヲ十分ナラシメル爲ニハ矢張り衛生的ノ設備ト云フコトモ色々考慮ヲ要シマス、ソレデ家畜保險組合ト畜産組合トガ密接ナ關係ニアリマス方ガ行政上ノ都合モ良クアリマスシ家畜保險組合ノ效果ヲ舉ゲル上カラモ結構ト存ジマス、サウ云フヤウナ意味デゴザイマシテ、又同時に家畜保險組合ノ成立ノ要素トスル家畜ノ頭數ト云フ點カラ考ヘマシテモ、家畜保險ヲ行ヒマスノニハ矢張り餘リ廣イ範圍ノモノデハ道德的危險ガアリマスノデ、行ヒニ

クイノデアリマス、少サイ組合ノ方ガ相當管理ガ行キ届キマスカラ都合ガ宜イノデアリマスガ、是ハ又少サ過ギルト家畜ノ頭數ガ少イ爲ニ成立チマセヌノデ、町村ト云フヤウナ區域デハ頭數ガ少イ爲ニ成立チマセヌ、郡市ノ區域デアレバ大體成立ツ見込デアリマス、サウ云フヤウナ兩方面カラ行キマシテ郡市ノ區域ト云フコトニ致シマシタ、組合員ノ資格ハ其地區内ノ牛馬ノ所有者ヲ以テ組合員トスルト云フ考デゴザイマス、ソレカラ組合ノ組織ハ任意加入ノ團體ト致シマシテ、相互組織ノモノト致シタイト云フ考デアリマス、畜産組合ノ方ハ強制加入ニナッテ居リマスガ、此組合ハ強制加入デナク任意加入ニシタイト思ヒマス、第二ニ保險ノ目的デゴザイマス、保險ノ目的ハ、詰リ被保險家畜ハ先程モ申上ゲタヤウニ牛ト馬ト差當リ致シテ行ク積リデゴザイマス、ソレカラ牛ニ付キマシテハ六箇月未満ト滿十一歳ヲ越エルモノハ除外シタイト思ッテ居リマス、馬ニ付キマシテハ明ケ一歳ノ駒及ビ十七歳以上ノモノヲ除クト云フ積リデ居リマス、是ハ何レ勅令若クハ省令デ規定スル積リデアリマス、只今申上ゲマシタヤウナ極ク若イモノト年取タモノヲ除キマスルノハ、統計上カラ申シマシテ非常ニ死亡率ガ多イモノデスカラ、チヨット保險ノ目的ニ成リ得ナイ關係ニ於テソレ等ヲ

除ク積リニ大體考ヘテ居リマス、ソレカラ保險事項ト致シマシテハ三ツアリマシテ、斃死、切迫屠殺、法令ニ依ル殺處分、此三ツデアリマス、保險料率ハ家畜ノ種類、用途別ニ依リマシテ差等ヲ設ケル積リデゴザイマス、例ヘバ馬ニ付キマシテハ種牡馬デアルトカ其他ト云フヤウニシテ、牛ニ付テ四ツ、馬ニ付テハ三ツニ大體分ケル積リデゴザイマス、ソレカラ保險ノ方法ト致シマシテハ、第一ニ引受ケテ致シマス際ニ健康検査ヲ行ヒマシテ、評價委員ヲシテ保險價格ヲ定メシメル積リデ居リマス、ソレカラ第二ニ保險金ノ支拂ハ、事故ノ起リマシタ場合ノ審査ト、ソレカラ評價委員ノ損害額ノ決定ニ基キマシテ保險金ヲ支拂フコトニ致ス積リデ居リマス、第三ニ損害填補ノ割合ハ、純保險率ノ一定ノ割合ト致シマシテ法律ニ百分ノ八十、詰リ八割以下ト云フコトニスル積リデアリマス、残りノ二割ハ詰リ自家保險ト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ保險契約ノ關係ハ、商法ノ損害保險契約ニ關スル規定ヲ基準トシテ定メル積リニナッテ居リマス、大體ニ於キマシテ此法案ヲ御覽ニナリマス、商法ノ規定ヲ準用スル箇條ガ澤山アリマス、次ニ保險組合ノ經費デゴザイマスガ、是ハ組合員カラ賦出イタシマス保險料ト、極ク少額ニ止メル積リデゴザイマスガ、少額ノ加入金

ヲ認メテ居リマスノデ、加入金ヲ以テソレニ充テルト云フコトニ致シマス、剩餘金ハ純保險金トシテ積立テシメマシテ、相當金額ニ達シマシタ場合ニハ組合員ニ還付スルコトモ場合ニ依テハ出來得ル、併シソレハ詰リ保險料ノ拂戻シデアルトカ云フ範圍ニ於テソレヲ行フ積リデゴザイマス、ソレカラ第五ニ不足金ハ借入金、保險金ノ減額若クハ追徴ト云フモノハ、…保險金ノ減額及ビ保險料ノ追徴ト云フコトニ依リテ不足金ガ起ッタラ處理シテ行ク、ソレカラ剩餘金及ビ不足金ノ處分ニ關シマシテノ細目ハ命令デ定メル積リデ居リマス、ソレカラ元受保險ノ指導獎勵及ビ助長ニ關シマシテハ、家畜保險ノ指導獎勵ノ爲ニハ政府ニ若干ノ專任職員ヲ置キマシテ、又道府縣ニ於キマシテ專任職員ヲ設置スル場合ニハ其費用ノ若干ヲ補助スルト云フ積リニシテ居リマス、是ハ國ガ再保險ヲ行フノデアリマシテ、元受保險ガ能ク行ハレルカ否カト云フコトハ再保險ニ非常ニ影響ヲ及ボスノデアリマス、又畜産行政ノ上カラモ其組織ガウマク行クカ否ヤト云フコトハ、重大ナル關係ヲ持ッテ居リマスカラ、相當ノ職員ヲ國ニモ道府縣ニモ設置致シマシテ、此指導獎勵ニ付テ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス、家畜保險組合ニ對スル助成ト致シマシテハ、斯ウ云フ法案ヲ出シマシタノハ既ニ畜

産組合ニ於テ相當ノ共濟事業トシテ家畜保險類似ノ制度ガ行ハレテ居ルト云フコトカ、此可能性ヲ認メタ次第デゴザイマスガ、嚴格ナル保險制度ヲ法律ニ依ッテ施行スルト云フコトハ初メテノコトデゴザイマスシ、組合ノ構成ガウマク行クカ否カト云フコトハ重大ナル關係ヲ持ツモノガアリマスカラ、初メ設立三箇年ヲ限リマシテ、組合ノ中心トナル技術員ト云フヤウナモノニ補助ヲ與ヘルト云フ意味ニ於キマシテ、事務費ニ若干ノ補助ヲ與ヘタイト考ヘテ居リマス、只今マデ申上デマシタノハ再保險ノ元受保險ノ事柄デアリマスガ、再保險ハ國デ行フ積リデゴザイマス、政府ガ管掌致シマシテ、元受保險組合ハ總テノ保險ニ付キマシテ各、保險金額ノ一定ノ割合、是ハ大體五割ノ積リデアリマス、一定ノ割合ヲ以テマシテ再保險ニ附スルコトヲ要スル、強制的ノ再保險ノ制度ヲ執ル積リデアリマス、サウ致シマセヌト所謂逆選擇ガ行ハレマシテ惡イモノダケヲ再保險ニ持ッテ來ラレマシテハドウシテモ成立ツモノデハアリマセヌ、ソレカラ再保險ノ料率ハ元受保險料率ノ一定ノ割合ノ約八割五分デアッテ行ク積リニ考ヘテ居リマス、詰リ五割ノ再保險ト云フコトニナルデアリマス、再保險ノ方法ハ、國ハ元受保險組合ニ對シマシテ元受保險組合ノ支拂フベキ保險金額ヲ再保

險ニ引受ケマシタ割合ニ依リマシテ填補スル云フトコトニナルデアリマス、ソレカラ再保險ニ關スル元受保險組合ノ責任ハ、再保險料ノ限度ト致シマシテ政府ニ於キマシテハ組合ニ對スル剩餘金ノ還付デアリマストカ、不足金ノ追徴及ビ再保險ノ金額ノ削減ト云フヤウナモノハ、再保險ニ於テハ行ヒマセヌ積リデアリマス、再保險ニ於キマシテハ矢張り商法ノ損害保險契約ニ關スル規定ヲ基準トシテ大體規定シテ居リマス、再保險ニ關シマスル爭議ノ解決ニ付キマシテハ、家畜再保險審査會ト云フモノヲ設置致シマシテ濫訴ノ弊ヲ防グト共ニ、裁判ニ依リマシテ非常ニ長引ク虞ノアリマスノヲ早ク解決スルヤウニシタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ再保險ノ經理ト致シマシテハ、再保險事業ハ特別會計ヲ以テ經理スルコトト致シマシテ、再保險ノ事業且ツハ其收入ノ保險料ヲ以テ支辨スルコトヲ本則ト致シマス、併ナガラ當分ノ中十箇年ノ間ハ事務費ノ不足ヲ國家ノ一般會計カラ補給ヲ受ケル計算ニナッテ居リマス、初年度ハ六万六千餘圓ト思ッテ居リマスガ、年々是ハ減少致シマシテ、十年ノ後ニハ特別會計ガ獨立ガ出來ルト云フ見込ヲ以テ計算ヲ立テテ居リマス、デ異常ナル特殊ノ場合ノ保險事項ノ發生ニ依ル金額ノ不足ハ、再保險特別會計ニ於テ借入金ノ制度ヲ認ム

ルコトニシマシテ、借入金ニ依ッテ支給シテ行キタイト思ヒマス再保險事業ノ實施ノ計畫ノ大綱ヲ申上デマスルト、モウ全クノ見込デゴザイマス加入頭數ハ牛馬ヲ合セテ初年度ハ三万三千三百九十頭、十年後ニ至リマシテ六十万七千八百頭ノ加入ヲ見ルコトハ組合數ト加入頭數ノ見込カラ來テ居リマス、組合ノ成立ハ初年度ハ約五十組合、漸次遞増シマシテ五十箇年デ四百組合ノ設立セラレル見込ノ下ニ收支ノ「バランス」ヲ合セテアリマス、再保險ノ收支計算トシテハ再保險料ト積立金カラ生ジマス收入借入金及雜收入ヲ以テ收入トシマシテ再保險金、借入金ノ償還金利息及ビ其利子一時借入金ノ、事業ノ取扱其他ノ諸費ヲ以テ歳出ニ當テルコトニナッテ居リマス、其一部ノモノヲ處理スルデアリマス、歳入ハ初年度ハ特別會計ノ收入デアリマス歳入ハ初年度ガ十四万三千八百三十一圓歳出モ又同ジデアリマス、ソレカラ十年後ニ於キマシテハ歳入ガ百五十四万三百八十九圓歳出モ又同ジト云フ大體豫算ヲ立テテ居リマス、極ク簡單デアリマスガ實施ノ腹案ハ只今申上デマシタヤウナ次第デアリマス

○委員長(男爵足立豐君) ソレデハ大藏省當局ノ本案ニ對スル御説明ヲ願フコトニ致シマス

○政府委員(大口喜六君) 此特別會計法ニ付キマシテハ既ニ農林大臣ヨリ其趣旨ハ申述ベテアル筈ト存ジマス、只大藏省所管ト致シマシテハ特別會計ヲ設ケマシタ趣旨ヲ此際申述ベマスコトガ適當カト存ジマスルノデ、御承知ノ通り此家畜保險ニ付キマシテハ、先ヅ以テ元受保險ノ方ハ綜合的組合ヲ經營セシメマシテ是デ受ケマスノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ政府ハ再保險ヲ致スト云フノデアリマス、最初ノ中ハ收入支出ガ合ヒマセヌカラ昭和四年度ノ豫算ニ於キマシテハ六万六千圓バカリデアリマスカト考ヘマスガ、一般會計カラ繰入レヲ致スノデアリマス、將來ハ次第ニ此事業ヲ發達シテ參リマスレバ、收入支出ガ其仕事ノ中デ相償フヤウニナル見込デアリマス、ソレ故ニ一般會計カラ離シテ特別會計トシテ經營致スコトガ適當ト信ジマシテ特別會計トシテ本案ヲ提出サレタ次第デアリマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス

○委員長(男爵足立豐君) 只今ノ御説明ニ付キマシテ御質問ガアリマスナラバ……

○子爵會我祐邦君 前ノ方ノ御説明ニ對シマシテノ質問モ同時デ宜シウゴザイマスカ、何レ拜見セナイト承ハレマセヌガ只今ノ御説明ニ依リマス、牛ハ六箇月カラ十一箇年マデト云フモノト馬ガ明ケノ一年カラ十七年、之ヲ保險ニ掛ケル、元受會社ノ取リマス所ノ收入ニ依リマシテ其事務費ト

カ何トカ豫算ヲ採レルト云フ計算ニナッテ居ルノデアリマス、ソレヲ一ツ承ハリマス、保險ノ元受會社ノ……

○政府委員(戸田保忠君) 元受保險組合ハ事務費デモ取レルコトニナッテ居リマス、標準保險料ヲ定メマス際ニ、純危險率ノ外ニ收入保險料トシマシテ若干モノヲ、ソレニ見込デ保險料ヲ決メル積リデ居リマス

○子爵會我祐邦君 サウ致シマスルト假リニ一萬圓ノ馬ヲ明ケ一歳デ掛ケルト致シマスルト、其馬ハ先程ノ御説明ニ依ルト評價人ニ依ッテ評價價格ガ決マルノデアリマスト思ハレルノデゴザイマスガ、同じ馬デアルトスルト最高率ハ幾ラ位デ保險料ヲ拂フノデアリマセウカ、馬ニ依ッテ色ミ良イ惡イ、種馬色ミゴザイマセウカ、要スルニ假リニ一萬圓ナラ一萬圓ト云フヤウナ馬ヲ此農家デ保險元受會社ニ保險ニ附セント欲スル際ニソレガ評價人ニ依ッテ一番良イ馬デアルトサレタ時分ニ幾ラ拂フコトニナリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 保險料率ハ斯ウ云ス風ニ考ヘテ居リマス、馬ハ種牡馬ト輓用馬ト、其他ノ馬ト三ツニ分ケル積リデ大體居リマスガ、純危險率ニ安全率ヲ加ヘマシテ標準保險料率ヲ出シテ居リマスガ、種牡馬ニ於テハ三・〇一輓用馬ニ於キマシテハ四・七七、其他ノ馬ハ二・二ト云フ風ニ

考ヘテ居リマス、其標準保險料ハ是ハ全國的ノ統計ニ依ッテ作ッテ居リマスノデ、實際ノ施行ニ當リマシテハ地方的ニ之ヲ斟酌スル必要ガアルト考ヘテ居リマス、唯地方的ニ斟酌ト云フノハ各府縣別ニ致シマスガ、ドウ云フ場合ニ致シマスカト云フ點ニナリマス

トウ云フ場合ニ致シマスカト云フ點ニナリマスト各府縣別ト云フコトニハ餘リ細カクナリ過ギルト思ヒマスガ、或ハ東北トカ、或ハ九州トカ云フヤウナ風ニ取ルカト存ジテ居リマス、兎ニ角地方的ニ矢張り多少數字ノ動ク偏差ガアリマスルカラ、ソレニ適應スルヤウニ地方的ニ矢張り斟酌スル必要ガアルト思ヒマスカラ標準ノ保險料率ト致シマシテハ只今申上デマシタ數字ガ出テ居リマスノデ、ソレヲ標準トシテ實施シタイ考デ居リマス

○子爵會我祐邦君 危險率ト云フノハ計數ノ基礎デアリマセウカ、其危險率ト云フモノハ何所カラ出テ居リマスノカ、詰リ長年ノ御統計ニ基イタモノデアラウト思フノデゴザイマスルガ、ソコヲ極ク簡單ニ御説明ヲ願ヒタイト思フ、安全率ト云フモノハドウ云フ風ニ御取リニナッテ居リマスルカ、危險率ニ對スル今御説明ノ數字ガアリマシタガ、危險率其モノガ日本ノ狀態ニ於テドウ云フ風ニ之ヲ見テ宜イモノデアルカ、ソレカラ危險率ハドウ云フ風ニ見テ其危險率ト安全率ノ割合デ以テ詰リ會計ガ殘ルカ殘ラ

ナイカト云フコトニナルダラウト思フノデゴザイマスガ、其所ヲチヨット承リタイノデゴザイマス

○政府委員(戸田保忠君) 安全率ハ一割ヲ見テ居リマス、ソレカラ收入保險料トシマシテハ附加保險料ハ二割五分ヲ見テ居リマス、事務費ニ當テルモノデモ、ソレハ二割五分ト見テソレカラ標準保險料ノ出シ方デゴザイマスガ、是ハ統計ニ依ッタカト云フコトハ是ハ御手許ノ方ヘ參考書トシテ御配布イタシテ居ル積リデ居リマス家畜保險資料ノ第八項ト云フノニ牛馬斃死統計表ト云フモノガゴザイマス、是ノ第一表ニ標準斃死量率ガ出テ居ル、此第一表ニ出テ居ルノデアリマス、ソレガ算出基礎ヲ下ノ欄ニ掲ゲテ居リマスガ、詳シク申上デマスルト非常ニ實ハ長クナリマスノデ、第一表デ御覽ニナルト乳牛ノハ十五表カラ出テ居リマスルシ、乳用種牡牛ハ、第七表ニ出テ居リマスト云フ風ニ例ヲ申上デマスルトナッテ居リマス、ソレデ此標準斃死量率ヲドウ云フ風ニシテ決メマシタカ、統計ヲドウ云フ風ニシテ使ヒマシタカト云フ極ク結論ダケヲ申上デマス、曾テ昭和二年ノ夏カラ昨年ノ夏迄ニカケマシテ、商工省ニ設置サレテ居リマス損害保險制度調查會ト云フモノガアリマス、ソコデ決マリマシタハ量率デゴザイマス、農林省側カラハ私が委員トシテ出

テ居リマシテ、農林省デ得マシタ成案ヲ私ノ案トシテ出シマシタ、ソコデ審議ヲシテ戴キマシテ多少改訂サレタ點モゴザイマス、サウシテ損害保險制度調查會デ専門家ノ集ッテ居ラレル所デ、色ミ農林省ノ原案ニ付テ審議ガゴザイマシタ、各種ノ色ミノ種類ノ統計ガゴザイマスガ、其統計ノ用ユルニ足ルモノ又ハ改訂ヲ要スルモノ、色ミ審議ガアリマシタ結果、此程度ノモノナラバ家畜保險ヲ行フニ付テノ標準量率トシテハ此際トシテハ此程度ナラバ先ヅ宜カラウト云フ風ニ決ッタモノヲ、其儘實ハ用ヒル積リデ居リマス

○子爵會我祐邦君 モウ一度承ハリタイノデスガ、例ヘバ農家デ良イ馬ヲ持ッテ居ル、其馬ガ先程申上デタヤウニ一萬圓ノ價格ガアルト云フコトヲ信ジテ居ルモノガ、此馬ノ保險ヲ付ケタイ、明ケ一歳カラ付ケルト云フ時分ニ實際問題トシテハドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、料金ハ幾ラ良イ馬デアッタラ拂フカ、百分ノ四十トカ、或ハ百分ノ十トカ云フコトデアラウト思フガ、其料金ノ何ヲ御考ヘニナッテ居ルノデスカ、一番良イ所デ、例ヘバ一番良イ馬ナラバ馬ト云フモノニ……

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ詰リ先程申上デマシタ量率ガ四「コンマ」幾ラト云フト、百圓ニ對スル率デスカラ百圓ニ對シテ

四圓幾ラト云フコトニナッテ居リマス、明ケ一歳ト云フコトハ先程申上ダマシタ明ケ一歳及十七歳以上ヲ除クト云フコトニナリマスカラ明ケ二歳カラ付ケルコトニナリマス

○子爵會我祐邦君 サウ致シマス「百圓デ幾ラト云フコトニナリマス」ト云フコトニナリマス、ソレデ一万圓ノ保險ヲ付ケマス、其馬ガ死ニマシタ時ニハ先程ノ御説明ニ依ルト八千圓實フコトニナルノデスカ、サウ致シマス「明ケ二歳カラ十七歳迄、正味十六年デゴザイマセウカ、ソレヲ四百圓宛十六箇年積ミマス」ト云フコトニナリマス、毎年サウ云フ金ヲ掛ケテ行クトシマス、トサウ云フ金高ニナル、而シテソレガ十何箇年前カラ掛ケタ、第一回ノ時カラ掛ケタ利子ト云フモノヲ加ヘマシテ、更ニソレガ複利ニナッテ参リマスカラ、六千四百圓ニ加フルニ利子ガアリマスカラ、ドウシテモ七千圓以上ノモノニナルト思ハレルノデスカ、サウシテ一万圓ニ對スル保險ハ八千圓シカ取レナイ、ソコニ注ギ込ミマシタ金トソレカラ取りマス金トノ開キガ非常ニ小サイヤウデスガ、此計數ガ小サイニモ拘ラズ農家ハ喜ンデ保險ヲスルデセウカ、此内容ヲ承ハリタイ、ドウ御考ヘデスカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ必ラズ十七歳ナリ十八歳迄生キルトシマスレバ餘程關係ガ違テ参リマス、實際ノコトハシマシ

テハ二歳デ死ヌモノモアリ、三歳デ死ヌモノモアルト云フ譯デ、之等ノ全體ノ死亡統計ガアリマシテ、其偏差ガ約一割内外シカリマセヌ、差ノ開キガ比較的少ナイ、ソレデ割合ニ統計「デビエション」ガ小サイ、必ラズ十八歳ナリ十七歳迄生キルトシマスレバ自分ノ保險料ガ損ノヤウニ聞エマスガサウ云フモノデアリマセヌ、實際ノ點カラ申シマス「現在畜産組合聯合會アタリデ共済ヲヤッテ居ルモノモアリマスガ、其組合ノ料金ニ付テモ五圓或ハ六圓取ッテ現實ニヤッテ居リマス」

○子爵會我祐邦君 ソコガ私能ク分ラナイノデスカ、詰リ此案ヲ御立テニナッテ計數ノ基礎ト云フモノハ保險元受會社ガ算盤ガ取レナケレバナラヌ、其算盤ガ取レル以上ハ其危險率ノ除カレタ數字ガ出テ居ナケレバナラヌ、其數字ニ當ルテ居レバ元受會社ガ成立タナケレバナラヌ、成立タナイヤウニナッテ居レバ被保險者ノ方デハ得ノ行ク筈ハナイ、得ク行クヤウナ立テ方ハシテナイ筈デスナ、ソレデ十六歳以上ノ馬デアリマスレバ死ニ際ニ近イノデアリマスガ、駒ノ中デモ五歳マデハ弱イトカ、五歳カラ十歳マデハ健康ナ時期デアルト云フヤウナコトヲ實驗ノ上カラ知ッテ居リマス農夫ハ其馬ヲ例ヘバ十歳ナラ十歳ニナッテカラ掛ケルト云フヤウナコトヲ許サレルノデスカ、許

サレナイノデスカ、生命ノ危險率ノアル時期ノ上ニ常識ヲ有ッテ居ルモノハ其危險率ノ一番強クナッテ來タ時掛ケルト云フコトガ出來ルノデアリマス、出來ナイノデアリマス

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ御説ノヤウニ都合ノ好イ時ダケ掛ケルヤウニ致シマス「到底保險ガ成リ立チマセヌ、ソレデ有資格者ガ組合員ニナル譯デアリマシテ、此法律ニ依リマシテ家畜ヲ持ッテ居レバ皆掛ケナケレバナラヌト云フ制度ニ致シテ居リマス、勝手ニ都合ノ惡イノダケ掛ケテ儲ケヤウト云フコトハ出來ナイヤウニシテアル、一ツ掛ケレバ同時ニ自分ガ三頭持ッテ居レバ三頭掛ケナケレバナラヌト云フ制度ニ致シテ居リマス」

○子爵會我祐邦君 途中カラ掛ケテ居タノヲ止メルコトガ出來ルノデスカ、例ヘバ明ケ二歳カラ掛ケテ五歳位マデ掛ケテ、其馬ヲ他人ニ賣ルトカ、何トカ、若クハ賣ラナイデモ保險金ヲ拂ハナイデ保險ヲ拔ケルコトガ出來ルノデアリマス

○政府委員(戸田保忠君) 所有馬デアル以上ハ其組合員ハ掛ケナケレバナラヌ強制保險ノ制度ニ致シテ居リマス

○子爵會我祐邦君 私ハ是ハ極ク宜イコトダト思フ、此法案ノ御精神ハ只素人トシテ考ヘマスルト、所謂「モーラルリスク」ト言

ヒマスルカ、道德危險率ト書イテ御出デニナルヤウダガ、是ガ非常ニ危險ダト私ハ思フ、殊ニ地方ノ土地ノ狭イ所デ而カモ獸醫ト親類デアリマシタリ、獸醫ト飲ミ食ヒシタリスルヤウナ連中デアリ、考ノ間違ッタヤウナ者ガアリマスルト、隨分「モーラルリスク」ハ只御役所デ御覽ニナッテハソレハナイヤウニ見エテモ、實際問題トシテハ其危險ガアリハシナイカ、ソレデ之ニ對シテノ御説明ハチヨット承リマシタヤウデアリマスガ、此點ニ付テハ十分私ハ御注意ニナラムコトヲ希望スルノデアリマスガ、ソレニ對シテ政府ハ矢張り私ト同ジヤウナ意味ニ於テ此危險ト云フコトヲ御考ニナッテ居リマスカ否ヤ、チヨット承リタイ

○政府委員(戸田保忠君) 御考ノヤウナ「モーラルリスク」ヲ防グト云フコトニ付テハ十分注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマスシ、又其危險ガアルコトヲ實ハ恐レテ居リマシテ、成ルベク出來ルダケノ方法デ防グヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、法律ナリ、或ハ勅令ナリ、省令ナリデ行キマセヌ所ハ或ハ模範定款ト云フヤウナモノデ少シデモソレヲ巧ク救ッテ行クヤウナ風ニデモ致シマス、何等カ方法ヲ講ジテ其點ハ成ルベク道德的危險ヲ少ナカラシメル方法ヲ採リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵會我祐邦君 サウ致シマス「只今ノ

御説明デ大體分リマシタガ、再保險ニ牽聯

シテ承リタイノデスガ、只今御説明ノ中ニ

アリマス所ノ標準ノ基礎ト申シマセウカ、

元受會社ノ存在シ得ルノニハ餘リニ小サク

テモ出來ナイ、大キイト色ニ面倒ガアル、

適當ナモノニシテ置キタイ、斯ウ云フ風ニ

御説明ヲ承リマシタガ其御説明ノ所謂適當

ナル大キサト云フモノ、上カラ再保險會社

ニ對シテ政府ガ初メノ中ハ補助ヲ致シマセ

ウガ終ヒニハ其事務費カラナニマデガ再保

險ノ元受ケガ其危險率ヲ一部「カウアー」ス

ル、再保險會社ニ依ッテ……其收入ニ依ッテ

再保險ガ實際獨立シ得マセウカ、經費

ガ……

○政府委員(戸田保忠君) 只今私共ガ計畫

シテ居リマスノ八十年間デ獨立シ得ル計畫

デヤッテ居リマス、先程申上ゲマシタヤウ

ニ初年度ハ加入頭數モ少ウゴザイマスシ實

ハ一方ニ指導獎勵ノ職員ノ豫算ヲ御認メヲ

願ッテ置イテ居ルノデ加入ヲ圖リタイト思

ヒマスガ机上デ其通りニ行カ行カヌカ

分リマセヌケレドモ、初年度ニ於テ少ク見

テ居リマシテ五十組合ヲ見積ッテ居リマス、

サウ致シマスルト年々増加シテ十箇年ノ後

ニハ四百組合ダケヲ組合ニ入レルコトガ出

來ルト云フ今自信ヲ以チマシテソレニ基イ

テ特別會計ノ方ノ豫算モ組ンデ居リマス、

年々ノ一般會計カラノ補給金ハ初年度ニ於

テ六万六千圓餘リヲ組ンデ居リマスガ年々

少シツ、遞減イタシマシテ十年間ニ獨立ガ

出來ルト云フ自信ヲ以テ豫算ヲ編成ヲ致シ

テ居ルノデアリマス

○子爵會我祐邦君 若シ馬ノ傳染病、牛ノ

傳染病ト云フモノガ突發イタシマシテ非常

ナル猛威ヲ以テ地方ヲ荒スト云フヤウナ場

合ニハ火災保險デ申シマスルト東京ノ大火

災トカ横濱ノ大火災トカ……是ハ會社デア

リマセヌガ、元受ケハ非常ニ基礎ガ弱イモ

ノデアリマスカラ詰リ曲線デ示サレタ所ノ

牛馬ノ斃死ノ統計ノ基礎ニ基イテ斃死ノ率

ハ計算ノ中ニ含マシテ居ナイ、ソレ等ニ對

シテ安全率モ僅カニ一割シカ安全率ヲ持ッ

テ居ラレナイ然ルニドウ云フ傳染病ガ突發

スルカモ計ラレナイサウ云フ時分ニハ保險

元受ケハ將來窮地ニ陥ルト云フ場合ニハ何

カ當局ノ方デ御考慮ニナッテ居リマセウカ、

サウ云フ事情ガ絕對ニアリ得ナイト云フコ

トヲ斷言出來マイト私ハ思フ

○政府委員(戸田保忠君) 一番恐レマスノ

ハ御話ノヤウニ疫病ガアリマシテ一時ニ澤

山死ヌ場合デアリマス、併シ今度用キタイ

ト思ヒマスル標準ノ危險率ヲ出シマスル統

計ノ基礎トナル三十箇年間ノ統計ガゴザイ

マスガ、其三十箇年ノ統計ハ三十箇年間ニ

起ッタ疫病ノ關係ハ皆此統計ノ中ニ含マレ

テ居ルノデアリマス、ソレヲ含シ統計デ

數字ガ出來テ居ル譯デアリマス、ソレカラ

一方法律ニ依リマシテ傳染病中デ法律ニア

リマスル特殊傳染病デアリマスト殺處分ノ

手當テヲ出セルコトニナッテ居リマス、其分

ハ差引キスルコトニ考ヘテ居リマス、ソレヲ

差引キマス關係モゴザイマスカラ、ソレダ

ケハ數字ガ……拂ヒマス金ガソレダケ減ル

關係ニナリマス、サウ云フヤウナコトデア

リマシテ、實際ノ問題ト致シマシテ、是ハ

又先程申上ゲマスヤウニ家畜保險類似ノ、

詰リ救濟制度ト云フモノガ非常ニ十分ナモ

ノデアリマセヌケレドモ、是ガ或ル程度ニ

行ハレテ居リマスガ、ソレ等ガ今マデノ實

驗ニ依ッテモ疫病ノ爲ニ困ッタト云フヤウナ

例ハ、幸ヒニナカタノデアリマス、只出來

タ直グ地震ノ爲ニ死シタ困ッタト云フノガ

一ツアリマス、其他ニ於キマシテ餘リ實際

困難ニ陥ッタ例ハアリマセヌ、併ナガラ是ハ

無イト云ッテサウ樂觀スルコトハ出來マセ

ヌガ、サウ云フ場合ダケハ已ムヲ得ズ再保

險ノ方デハ借入金デ支辨シタイト考ヘテ居

ル次第デアリマス、絕對ナイトハ申セマセ

ヌガ、危險率ノ中ニモサウ云フ場合モ含シ

タモノガ基礎ニナッテ居リマスガ、大體ニ於

テ大シタ誤リハナイト思ヒマス、只組合ノ

出來タ直グ翌日病氣ニナッタト云フヤウナ

場合ヲ考ヘマスト仕方ガアリマセヌケレド

モ、大體ニ於テ之デ行ケル見込デアリマス

○子爵會我祐邦君 モウ一ツ承リタイノデ

スガ、是ハ詰リ地方ニ於キマス邊鄙ナ所ノ

農村ニ於テ、農家ノ立場ニ於テ私ハ承リタ

イ、獸醫師法ニ依リマス、牛馬ノ斃死ト

云フコトニ付テハ一々獸醫ノ診斷書ヲ要ス

ルヤニ記憶シテ居リマスガ、若シ斯ノ如ク

デ現在アリマスナラバ、此地方ニ於キマシ

テ極ク邊鄙ナ所デ馬ガ死シタ、サウシテソ

レニ保險ガ掛カッテ居ル、其馬ガ保險金ガ取

レル性質ノ死ヲヲシテ居ルト云フコトヲ證

明スルニハ獸醫ノ證明書ヲ絕對ニ要スルモ

ノデアラウト思フノデアリマスガ、左様デ

ゴザイマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 只今御尋ネノ點

ハ絕對的條件デハナイヤウニ考ヘテ居リマ

ス

○子爵會我祐邦君 サウデゴザイマスガ、然

ラバ曩ニ制定セラレマシタ獸醫師法ノ獸醫

ノ職權ト、假ニ牛馬ノ斃死シタ場合ニ於ケ

ル、獸醫官ノ取扱トニ何カ茲ニ齟齬ヲシタ

モノハ存在シマセヌカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ齟齬スル

コトハナイ積リデアリマス、此際チヨット説

明ヲ他ノ……政府委員デハゴザイマセヌ

ガ、今ノ御尋ネニ付テ申上ダコトヲ御許

シヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(男爵足立嘉善君) 宜シウゴザイマ

ス

第四部第十三類 家畜保險法案外一件特別委員會議事速記録第一號 昭和四年三月六日

七

○説明員(村上龍太郎君) 獸醫師法ノ關係ハ只今チヨット法文ハ持ッテ居リマセヌガ、斃死ノ場合ニ診斷書ノ請求ガアツタ時、之ヲ拒ムコトガ出來ナイ、從テ獸醫師ノ義務ニナッテ居リマス

○子爵會我祐邦君 ソレデスカラ、ソレヲ逆ニ云ヒマス、死シタ場合ニ診斷書ヲ獸醫師ハ拒ムコトガ出來ヌノデスカラ、必ズ死シタ場合ハ獸醫師ノ診斷書ガ死亡届ノヤウナモノヲ何カ貰ハナケレバナラヌノデスカラ……

○説明員(村上龍太郎君) ソレハチヨット申上ゲテ置キマスガ、斯ウナッテ居ルノデアリマス、獸醫師ノ方ハ義務トシテ拒ムコトガ出來ナイコトニナッテ居ル、其診斷書ガ要ルカ要ラヌカト云フコトハ屠場へ持ッテ行ッテ肉ヲ處分イタシマス、トカ、埋葬スルトカ云フ場合、警察ノ方ノ規定デソレヲ持ッテ來イト云フコトノ制度デアリマシテ、獸醫師法ノ制度カラハ獸醫師ハ詰リ診斷書トカ検査書トカ、正當ナ要求ガアッテ貰ヒニ來タラ拒ムコトガ出來ヌト云フヤウナ獸醫師ノ義務カラ來テ居リマシテ、裏ノ方ハ獸醫師法ニハ書イテアリマセヌ

○子爵會我祐邦君 獸醫師ハ拒ムコトガ出來ナイ、ソレカラ警察ノ方デハ死シタ場合カ埋メル場合カ、若クハ肉ヲ賣ル場合ハ診斷書ガ要ルト、百姓トシテ見マスレバ、死ニマ

シタ馬デモ牛デモドウ取扱ッテ宜イカ、無クナッテシモモノデナイカラ、埋メルカドウカシナケレバナラヌカラ、實際問題トシテ矢張り獸醫師ノ診斷書ガ要ルコトニナリマセヌカ

○政府委員(戸田保忠君) 警察關係ノ場合ハ獸醫師ノ診斷書ヲ付ケナケレバナラヌト云フ點モアリマスガ、保險其者カラ申シマスレバ、保險ヲ詐欺サレルコトガナケレバ宜イ理窟デスカラ、信用スルニ足ルモノガアレバ宜イ譯デ、併シ實際問題トシテハ矢張り飼養ノ點管理ノ點、色々斃死ノ狀況ヲ鑑定スル必要モ起リマスカラ、矢張り技術員ナドハ、ソレ等ハ獸醫師ノ資格アル者ヲ實際ハ使ハナケレバナラヌカト思ヒマス、保險其者カラハ獸醫師ノ絕對必要條件トシマセヌケレドモ、事實ノ結論ト致シマシテ矢張り家畜獸醫師ヲ使フト云フコトニナルト思ヒマス

○子爵會我祐邦君 サウスルト、斯ウ云フ問題ガ起ルヤウニ思フノデスカ、地方ノ者ハ感情ニ動かサレ易イ、感情ノ爲ニ銳クナッテ居ル、偶、獸醫師ノ診斷書ガ保險金ヲ取ル爲ニ絕對必要デアルト云フ場合ニ於テ、此獸醫師個人關係ニ於テ、非常ニ仲ノ惡イ百姓ガ馬ヲ持ッテ居タ牛ヲ持ッテ居タ、ソレガ死シタ獸醫師ハ保險契約ニ基ク所ノ何カ不注意ガアツタトカ、何カミアツタ場合ニハ責任ヲ

負フトカ負ハヌトカ云フコトガ書イテアルダラウト思フ、獸醫師ノ診斷書ヲ與フルニ當テ、自分が見タ所デハ、是ハ死ヌベキ性質ノ病氣デハナク、不注意ノ結果斯ウナッタノダト云フ診斷書ヲ書カレタナラバ、實際トシテハ百姓ガサウ云フコトヲシテ居ラヌ、病氣ニナッテ死シタノニ拘ラズ感情的ノ問題ノ爲ニ、獸醫師ノ診斷ノ惡戯ヲサレタ爲ニ、其金ガ取レナイト云フヤウナ場合ニ、ドウ云フ風ニ御覽ニナリマス、地方ニ於キマシテハ兎角サウ云フコトガアル、非常ニ感情ニ捉ハレテ、對手ハ何モ派デアルトカ……政黨的ノ意味ヲ云フノデアリマセヌガ、何モ派デアルトカ言ッテ非常ニ地方デハ感情ニ捉ハレル者ガ多イ、其際ニ獸醫師仲ノ惡イ者ガ、不幸ニシテ馬ヤ牛ガ死シタ場合ニ、反對ノコトヲ書カレタ場合ニ保險金ガ取レナイ場合ガアルト思ヒマスガ、實際問題トシテハ非常ニ小サイコトデアリマスガ、非常ニ御考ニナルコトガ必要デアラウト思ヒマスガ、ソレハ御考ニナッテ居リマス

○政府委員(戸田保忠君) 只今御話ノヤウナ點ハ成ル可クサウ云フ弊ノナイヤウニ、十分注意ヲシナクチャナラヌモノト考ヘテ居リマス、ソレデ矢張り府縣等ニモ職員ヲ置キタイト云フコトモサウ云フコトニモ役立ツト考ヘラレマスノデ、郡市ノ區域ト致シマスカラ、所ニ依ッテハ或ハ六箇所或ハ多

イ所ニ依レバ十箇所二十箇所ノ所モゴザイマセウケレドモ、先ヅ大體ノ範圍ガ其位ノ所デアルト思ヒマスガ、組合ノ數モ或程度ニ制限サレテ居リマス、出來ルダケ只今ノ御注意的ノ御話ノヤウナ點ハ府縣等ニ於テモ成ル可ク手ノ廻ルヤウニシテ監督イタシタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵會我祐邦君 實際問題ト致シマシテハ、此問題ガ地方ニ於テ將來必ズアル問題ダラウト思ヒマスカラ、一ツ十分農村ノ人ヲシテ、此保險ノ趣旨ヲ徹底スルヤウニ爲サルコトヲ希望シマス

○大城兼義君 チヨット政府委員ニ御伺ヒシタイノデスカ、此組合ノ範圍ト、ソレカラ内容ノ大略ヲ承リタイ、是ハ議案ヲ見タナラバ分リマセウケレドモ、大體ヲ承リタイ

○政府委員(戸田保忠君) 組合ノ範圍デゴザイマス

○大城兼義君 サウデス

○政府委員(戸田保忠君) 組合ノ範圍ハ區域ノ方カラ申シマス先ニ申上ゲマシタヤウニ、大體郡市ヲ標準ト致シタイト思ヒマス、但シ例外ノモノヲ認メマス、例外ハ認メマス、ソレハ特殊ノ狀況ニ依リマシテ郡市ト云フ風ニ機械的ニ決メル譯ニ行キマセヌ場合ガゴザイマスカラ大體ハ郡市ヲ標準ト致シタイト考ヘテ居リマス、サウ致シマ

スルト加入頭數カラ申シマスレバ所ニ依ッ
テ違ヒマスガ、約二三千頭位、平均スレバ
二三千頭位ニナルト考ヘテ居リマス

○大城兼義君 サウシマス内容ハ此組合
トスレバ、其資本ハドウ云フ風ニナルモノ
デセウカ、資金……

○政府委員(戸田保忠君) ソレハ保険料ガ
主タル收入ニナリマス、唯實際ノ問題ト致
シマシテハ此設立ノ際ハ、初メニモナヨト
申上デマシタヤウニ畜産組合等ガ助成的
ニ、初メノ設立費位ハ寄附デモシテ呉レル
ト大變都合ガ好イト考ヘテ居リマス、成ベ
クハサウニ云フ風ニ勸誘イタシマシテ、總テ
ノ所ガサウ出來ルトハ參リマセヌケレド
モ、サウニ云フコトニサセタイト思ッテ居リマ
スルシ又見込カラ言ヒマシテ、サウニ云フコ
トガ出來ル見込ノ所ガ相當澤山ゴザイマス
○大城兼義君 初メニ資本ガナケレバ……
唯保険料ヲ取ッテ資本トスルト云フコト
ガ……マダ私ハ保險ノ内容ガ分リマセヌガ、
出來マスデセウカ

○政府委員(戸田保忠君) 保険料ハ先拂ニ
ナリマスノデスカラ、大體行ク積リデゴデ
イマス

○大城兼義君 保険料ハ先ニナルトスレ
バ、ソレガ澤山掛ケテアルトスレバ、病馬
ガ死ンダ場合ニ於テハ、其保險金ヲ拂フコ
トガ出來ルガ、澤山掛ケテナイ場合ニ於テ

死ンダ時ニハ、其金ガ集ッテ居ナイカラ保險
金ヲ仕拂フコトガ出來ナイ場合モアリハシ
マセヌカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ會我サン
カラノ御質問ガアリマシタ際ニ申上デマシ
タヤウニ、自分ニ都合ノ好イモノダケヲ掛
ケルト云フコトヲ認メマセヌデ資格ノアル
組合員ガ、五頭ナラ五頭持ッテ居リマスレ
バ、一頭ダケ掛ケルト云フ譯ニハ行カナ
全部法令ニ依ッテ決ッテ居ル家畜ダケハ掛ケ
ナクテハイケンイト云フ制度デ參リマスノ
デスカラ、其區域ハ詰リ資格者ガ何名ナラ
何名居リマシテ、ソレ等ノ資格者ノ有スル、
詰リ資格ノアル家畜ト云フモノガ二千頭ナ
ラ二千頭アレバ、ソレダケガ保險ニカカル
ト云フコトニナッテ參リマス

○大城兼義君 其組合ノ役員トシテハ、
アレハ組合ガ定メル、或ハ何モ報酬ナシニ
ヤルトカ何トカサウ云フ標準ガ決ッテ居ル
ノデスカ、報酬ヲ決メルノデスカ

○政府委員(戸田保忠君) ソレハ別ニ標準
ヲ定メテ居リマセヌ、何分ニモ小サイ相互
的ノ組合デゴザイマスカラ、設立ノ當初カ
ラハ、餘リ報酬ヲ豫期出來ナイカト思ヒマ
ス、實際ヤッテ見マシテ相當ニ行ケバ、相當
ノ報酬ヲ出シ得ルカト思ヒマスガ、初メカ
ラハ相當ノ報酬ヲ出スト云フコトハ豫期出
來ナイノデ、實際問題トシテハ大體名譽職

ノヤウナモノガ多イノデハナイカト考ヘマ
ス、唯事務員ノヤウナモノハ、相當ノ給料
ヲ出シテヤッテ行カナケレバナラヌト考ヘ
テ居リマス、是ハ施行シテ相當ウマク行ケ
バ、役員ニモ報酬ヲ出シ得ルカモ知レマセ
ヌガ、今ノ所デハ役員ノ報酬ヲドウスルト
云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ

○委員長(男爵足立豐君) 此際御諮リ致シ
マスガ、マダ質問モ澤山アルコト思ヒマ
ス、今日ハ此程度ニ致シマシテ、次回ニ讓
リタイト存ジマス、如何デアリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(男爵足立豐君) 御異議ガナケレ
バ本日ハ之ニテ散會イタシマス

午後二時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵足立 豐君

副委員長 大城 兼義君

委員 侯爵佐竹 義春君

子爵松平 直平君

子爵會我 祐邦君

菅澤 重雄君

野村 徳七君

政府委員

大藏政務次官 大口 喜六君

農林省畜産局長 戸田 保忠君

説明員

農林書記官 村上龍太郎君

昭和四年三月十一日印刷

昭和四年三月十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局